

千葉市の基本情報

- 人口 98.4万人(2024年6月現在)
- 面積 272.1 km²
- 千葉市消防局救急出動件数 69,155件(令和5年、過去最多)
 - R5 救急隊数26隊(航空救急隊を除く)
 - R5 病院照会4回以上かつ現場滞在時間30分以上 (12.4%)
- その他、地域の特徴等
 - 千葉県唯一の政令市(船橋市・柏市が中核市)。
 - 高齢化率 26.8%(令和2年)
 - 周辺地域からの患者の流入も流出もある(東葛→千葉→印旛)

千葉市の救急医療体制の概要

- 三次救急(救命救急センター)

- 千葉県総合救急災害医療センター、千葉大学医学部附属病院の2病院

- 二次救急

- 救急告示医療機関 27病院
- 内科、小児科、外科系の輪番病院体制あり
- ACS・産科・婦人科・脳卒中の分担制なし(当院に循環器および脳卒中ホットラインあり)

- 一次救急

- 夜間応急診療(千葉市立海浜病院内):年間1.15万人(R4年度), 内科・小児科. 24時まで.
- 休日救急診療所(千葉市総合保健医療センター内):年間1.26万人(R4年度), 内科・小児科・外科・整形外科・眼科・耳鼻いんこう科・歯科. 9時から17時

- その他、特徴的な点

- 千葉市消防局消防ヘリによるドクターピックアップ(平日日中・3次2施設が交代で担当)
- 搬送困難症例では発生場所から近い順に6病院をあたり, それでも収容できない場合は3次の2病院に連絡する. 6病院への搬送は6割程度に留まる.

千葉市の救急医療の問題点、良い点など

• 問題点

- 人口98万人に救命救急センターは2施設
- 二次輪番機能不十分, 搬送困難多発(政令指定都市で現場滞在時間最長を繰り返し記録)
- 夜間・休日の緊急手術に対応できる病院が少なく、手術例が3次に集中してしまう
- 夜急診が24時で終診

• 良い点

- 一次救急は夜急診・休日診
- 近年救急医が増加傾向

• 特別な取り組み、現在進行形の事業など

- ICTを用いた受入体制共有:ちば救急医療ネット→スマート119
- ちば消防共同指令センター[北西部を除く千葉県全域の消防指令]に常駐医として市内救急に従事する医師[救急科専門医以外も含む]が千葉市MCの指導・助言を行う
- 現場救急隊・常駐医で現場画像をLINEWORKSで共有